

2018.5.31 第1回住環境・コミュニティ部会

■これまでのワークショップ・検討会議の意見まとめ

市営住宅のこと

- ・若い入居者が少ない（間取りも合わない）
- ・団地が古くなり、修繕が必要（廊下の床等）
- ・空室が目立つ
- ・エレベーターがなく、高齢者が生活しにくい
- ・高齢者や生活困窮者が多い（所得制限）
- ・市営住宅が地域に多すぎる
- ・若い人、若い家族が住めるようにしてはどうか
- ・DIY 可能にし、地元工務店にも参加してもらう
- ・シェアハウス、二世帯住宅（近居）など

市営住宅以外の住まい・環境のこと

- ・古い空き家（戸建て）、空き地が多い
- ・若い人が住みやすい住宅、新しい住宅が少ない
- ・駐車場が少ない。せまい道や街灯が少ない道
- ・まちの移動や買い物を便利に。

コミュニティのこと

- ・少子高齢化でコミュニティバランスが崩れている
- ・子どもの居場所がない、
- ・近所付き合い、世代間交流が減った。高齢者は孤立も。
- ・幸町分館、王子町分館など老朽化で施設の利用頻度が下がっている
- ・地域にある団地集会所の利用頻度に差がある
- ・団地の空きスペースに出店・アートスペースにしてはどうか
- ・まちなかに小さなスペース（図書館、サロン等）を設ける
- ・市営住宅下の空き店舗を高齢者の集う拠点にする

まちの魅力づくり
色んな世代が住むまち

建替によるまちづくり

既存住宅・空間などを活かしたまちづくり

コミュニティを活性化する

既往課題への対応

まちづくり全体で考えること

→他にも、”跡地活用” ”駅前活性化” など